

再 評 価 書

箇所名	四日市鈴鹿環状線 (采女北工区)	事業名	道路事業	課名	道路建設課 (四日市建設事務所)
事業概要	工期 (下段:当初)	H21年～R6年	全体事業費 (下段:当初)	2,300百万円(負担率:国5.0:県5.0)	
		H21年～H30年		2,300百万円(負担率:国5.0:県5.0)	
事業目的及び内容					
<p>■当該路線の状況</p> <p>主要地方道四日市鈴鹿環状線は、四日市市東富田町地域の国道1号を起点とし、鈴鹿市北玉垣町地域の国道23号に至る延長2.5キロの幹線道路です。</p> <p>当路線は、四日市市中心部と鈴鹿市中心部を結び、国道23号、国道1号、国道477号(四日市湯の山道路)などの幹線道路に連絡する重要な道路です。</p> <p>当地域の内陸部における南北方向の幹線道路は主要地方道四日市鈴鹿環状線のみであり、交通が集中するため、朝・夕を中心に渋滞が発生しています。また、四日市市波木町付近では、幅員狭小により車両のすれ違いが困難な箇所があります。</p> <p>この様なことから、平成21年度に、当該地域の慢性的な渋滞を解消し、沿道利用者の利便性を向上させるため、事業に着手しました。</p> <p>四日市鈴鹿環状線の整備により、南北に走る幹線道路としてネットワークを構成し、四日市市中心部と鈴鹿市中心部を結ぶネットワークとの連携の強化することで、周辺路線の渋滞解消や利便性の向上が期待されます。</p>					
<p>■事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道交通の分散化による現道の渋滞緩和 ・バイパス整備による利便性の向上 					
<p>■事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画期間 16年間(平成21年度～令和6年度) ・全体事業費 2,300百万円(工事費1,630百万円、用地補償費670百万円) ・計画延長 900m(起点)四日市市波木町～(終点)四日市市貝家町 ・幅員 W=7.75m(11.25m) ・主要構造物 橋梁工 1橋 					
事業主体の再評価結果					
<p>1. 再評価を行った理由</p> <p>平成21年度に事業着手後、一定期間(10年)を経過し、事業継続中のため、三重県公共事業再評価実施要綱第2条に基づき再評価を行いました。</p>					
<p>2. 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>2-1 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 令和元年度末の事業進捗率は、50%(事業費ベース)となっています。 ② 平成30年度までに、測量、道路設計及び用地買収を完了し、工事用道路工事に着手しました。 <p>2-2 今後の見込み</p> <p>令和元年度に、橋梁下部工に着手する予定であり、令和6年度の供用に向けて事業を推進します。</p>					

3. 事業を巡る社会経済状況等の変化

3-1 関連事業の進捗

関連事業である国道477号は、4車線化に向けて整備を進めています。

3-2 現道の状況

現道の主要地方道四日市鈴鹿環状線は、依然として慢性的な渋滞が発生している状態です。

これらのことから、当事業の必要性に変化はありません。

4. 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元の意向の変化等

4-1 費用対効果分析

① 前回評価時の費用対効果分析の結果

【前回評価時】(平成21年時)	
総費用(C)	27.9億円
総便益(B)	173.4億円
費用便益比(B/C)	= 6.2

② 費用対効果分析の結果

費用便益比(B/C)	総費用(C) (残事業) / (事業全体)	総便益(B) (残事業) / (事業全体)
【事業全体】 5.9	10.4億円 / 22.4億円 事業費 : 10.1億円 / 22.1億円	132.5 / 132.5 億円 走行時間短縮便益 : 118.8 / 118.8 億円 走行経費減少便益 : 11.5 / 11.5 億円 交通事故減少便益 : 2.3 / 2.3 億円
【残事業】 12.8	維持管理費 : 0.3億円 / 0.3億円	

③ 感度分析の結果

【事業全体】	【残事業】
交通量 : B/C = 5.2 ~ 6.4 (±10%)	交通量 : B/C = 11.5 ~ 14.0
事業費 : B/C = 5.5 ~ 6.1 (±10%)	事業費 : B/C = 11.6 ~ 14.1
事業期間 : B/C = 5.5 ~ 6.1 (±20%)	事業期間 : B/C = 12.2 ~ 13.3

※出典：費用便益分析マニュアル(平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)

4-2 その他の効果

○ 走行時間短縮による波及効果

四日市市笹川地域から鈴鹿市街地への旅行時間が短縮することでアクセス性が向上し、沿道利用者の利便性の向上が期待されます。

○ 救急医療活動や消防活動への影響等

三重県立総合医療センターと鈴鹿市街地の移動時間が短縮し、救急医療を支援します。

4-3 地元の意向

当該路線周辺に位置する、四日市市消防本部、内部中学校などから、渋滞緩和、救急アクセスの向上、歩行者の安全性確保などの面から、主要地方道四日市鈴鹿環状線の早期供用開始を強く望まれています。

5. コスト削減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト削減

当初盛土材として購入土を使用する計画でしたが、本工事で発生した残土を流用することで、工事費として約1億円のコスト削減を図っています。

5-2 代替案

当初の計画では、現道拡幅案も候補の一つとして挙げられていましたが、現道部分には民家が多く立地しています。補償費の高騰や、用地買収の難航による工期延長が想定されることから、バイパス案が最適と考えます。用地買収は完了していることから、代替案はありません。

評 価 の 経 緯

当事業は、平成21年度に事業着手しており、今回初めての再評価を行います。

事 業 主 体 の 対 応 方 針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため当事業を継続したいと考えています。